

歳出 (一般会計は212億6319万円、前年度比3・4%増)

一般会計の歳出は、建設事業費が前年度より24・3%減少、災害復旧費が97・5%減少しましたが、補助費等(他会計への繰出金など)が15・0%増加したほか、物件費(委託料、燃料費など)が10・0%増加しており、歳出全体では前年度より3・4%の増となりました。

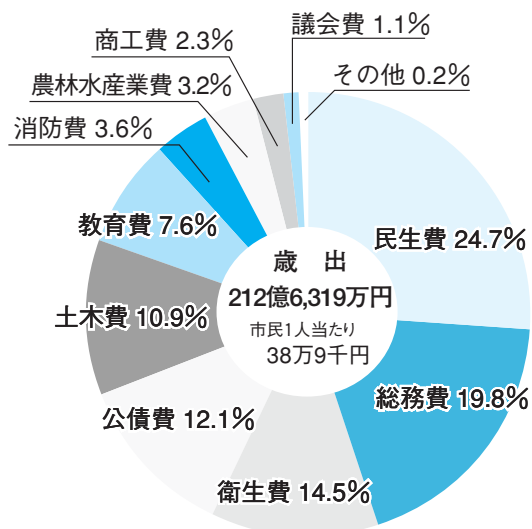


■予算の主な使いみち

民生費	国民健康保険・老人保健・介護保険事業繰出金	13億3千万円
	障害者福祉対策	8億1千万円
	生活保護	6億4千万円
	児童手当	3億8千万円
	老人福祉	1億9千万円
	市立保育所運営	1億円
総務費	人件費(一般会計全体)	33億7千万円
	基本積立(財政調整基金・減債基金)	15億9千万円
	退職手当(平成18年度20人→19年度32人)	7億円
	情報化推進	2億5千万円
	防災、安全等	7千万円
衛生費	可燃物・不燃物処理等負担金(恋路クリーンセンター、リサイクルセンター)	9億7千万円
	地域医療対策(病院事業繰出金)	7億5千万円
	壮年期保健対策(40歳以上)	1億3千万円
	不燃物・可燃物ごみ等収集事業	1億1千万円
	予防接種	7千万円
	母子保健対策	2千万円
土木費	下水道事業繰出金	12億5千万円
	緑町市営住宅建設	1億9千万円
	公園緑地整備・管理運営	1億円
	市道整備	8千万円
	都市計画道路整備等	4千万円
教育費	小中学校運営	3億7千万円
	体育施設管理運営	8千万円
	市民ホール運営	6千万円
	青少年健全育成	4千万円
	小中学校施設整備	4千万円
農林水産業費	光漁港広域漁港整備	2億円
	農業基盤整備(農道・ほ場など)	4千万円
	小規模治山	3千万円
	海岸松林保全	1千万円
	海岸保全施設整備	1千万円

■歳出の内訳

- 民生費 52億5,426万円 児童・高齢者・障害者などの福祉などの経費
- 総務費 42億 286万円 市の一般的な管理事務の経費
- 衛生費 30億7,672万円 各種検診、環境対策、ごみ処理などの経費
- 公債費 25億8,157万円 市の借入金返済のための経費
- 土木費 23億1,316万円 道路・公園・市営住宅等の維持・建設などの経費
- 教育費 16億1,166万円 学校などの教育、文化・スポーツ振興などの経費
- 消防費 7億7,046万円 消防、水防、救助活動などの経費
- 農林水産業費 6億8,292万円 農林水産業の振興、漁港の維持・整備などの経費
- 商工費 4億9,740万円 商工業の振興、観光などの経費
- 議会費 2億3,397万円 市議会運営の経費
- その他 3,821万円 労働者福祉や災害復旧などの経費



■表紙の答え 光市の一般会計での平成19年度の歳出金額 (212億6,319万円)